

地震工学委員会  
平成 25 年度 第 7 回（通算第 161 回）運営幹事会

議事録

●日時：平成 26 年 2 月 20 日（木） 16:00～17:30

●場所：土木学会 E 会議室

●出席者：

小長井（委員長）、片岡（幹事長）、池田、岩田、清田、濱野、原田、福武（運営幹事）、佐藤（事務局）

●配布資料

幹 161-01	平成 25 年度第 6 回運営幹事会 議事録案
幹 161-02	平成 25 年度予算状況
幹 161-03	小委員会活動補助費の追加申請等について
幹 161-04	平成 26 年度全国大会開催に伴う研究討論会企画募集について
幹 161-05	顧問就任依頼候補者リスト
幹 161-06	平成 26 年度第 1 回研究会について
幹 161-07	平成 26 年度定時総会議案書（案）
幹 161-08	平成 26 年度ジョイントセミナーテーマ募集について
幹 161-09	JSCE2015（仮称）策定協力資料
幹 161-10	平成 26 年度第 1 回委員総会議事（案）・案内文（案）
幹 161-11	運営幹事会役割分担表
幹 161-12	年間スケジュール（案）
番号なし	100 周年記念誌原稿案

●議事

（1）前回議事録（案）の確認

片岡幹事長から資料「幹 161-01」に沿って前回議事録案の説明があり、承認された。

（2）報告・審議事項

①予算の状況について（事務局）

- ・ 予算の執行に関して、3/17 までに旅費申請や領収書・請求書等を事務局に届くようにする必要がある。については各小委員会にその旨周知するよう事務局よりメール配信する。
- ・ 運営幹事会予算には余裕があるので、小委員会からニーズがあれば運営幹事会予算から捻出する。

②小委員会活動補助費の追加申請等について(岩田幹事)

- ・ 再追加の申請は 1 件あり、承認済である。
- ・ 運営幹事会予算の執行について、地震工学研究発表会開催予定地である長岡市の下見の必

要性についても検討し、実施する場合は次回の運営幹事会も兼ねて長岡市で行う。

③平成 26 年度全国大会開催に伴う研究討論会企画募集について（原田幹事）

- ・ 現在のところ応募は出ていない。3/14 締切なのでまだ時間はあるが、最終的にも応募者がいないかも知れない。
- ・ 全国大会が大阪大学開催であることも勘案の上、小長井委員長より小委員会委員長に打診いただく。

④新任委員の募集と顧問就任依頼について（清田幹事）

- ・ 新任委員の応募は現在のところない。
- ・ 新任顧問は 4 名、候補者には小長井委員長から電話確認を行う。
- ・ 運営幹事会より、耐震基準小委員会委員長、幹事長である長尾氏、野津氏を推薦する予定である。
- ・ 地震防災技術普及小委員会より、山口氏、大竹氏を推薦する予定である。
- ・ 岩田幹事より、西山氏（日建設計シビル）を推薦する予定である。
- ・ 現状の委員会内規では、小委員長が必ずしも委員である必要はない。今後、小委員長は地震工学委員会に入っただくよう内規を改定する方向とし、次回総会の審議対象とする。

⑤平成 26 年度第 1 回研究会について（濱野幹事）

- ・ 次回の研究会は、下水道の耐震基準の改定内容について、片桐氏（日本下水道協会）に講演いただくことで承認された。
- ・ 講演タイトルには、東日本大震災を踏まえた改定であることを含めていただくようお願いする。

⑥平成 26 年度定時総会議案書の作成について（事務局）

- ・ 現在各小委員会に委員会内容や行事報告・行事予定等について確認中である。
- ・ 行事予定の第 34 回地震工学研究発表会の開催地は、東大生研から新潟県下に改める。
- ・ 地震工学委員会の内容について、以下の修正を行う。
  - 3)東北地方太平洋沖地震および今後起こり得る地震発生地の現地調査  
→東北地方太平洋沖地震、その他地震被災地の現地調査
- ・ 法令から見た震災時の緊急事態対策小委員会については、資料等が何もなく記述できない状況である。小長井委員長より現状報告を行っていただくよう依頼する。

⑦平成 26 年度ジョイントセミナーテーマ募集について（池田幹事）

- ・ どこからも返答がないため、今回は希望なしと判断する。

⑧JSCE2015（仮称）策定協力の依頼について（片岡幹事長）

- ・ 提出済である。特段の問題がなければこの内容で変更しない。
- ・ アクションプランの一つとして掲げた、若年層（40 歳以下とする）の積極的な登用については、何かインセンティブ（例えば、地震被害調査の派遣団員として優先的に登用するな

ど)を付与できないか、総会で意見を伺う。

⑨平成26年度第1回総会議事について(片岡幹事長)

- ・ 内規の変更に関して、前記した小委員長の委員参画に関する改定について審議する。
- ・ 強靱化委員会に関して、現時点では特に進展はない。
- ・ その他のところで、前記した若年層登用のインセンティブについて意見を伺う。
- ・ 出欠表の内容について、委任に関する手違いが少なくなるよう修正した。

⑩運営幹事会役割分担について(片岡幹事長)

- ・ 清田幹事が来年度海外赴任の関係で運営幹事から外れる可能性がある。その場合、地震被害調査担当者について人選する必要がある。

⑪100周年記念誌原稿案について(小長井委員長)

- ・ 今回の内容は、2004年度から2013年度までの主に地震被害調査派遣活動と小委員会活動に焦点を当てて記述したものである。また、この間に東日本大震災が発生したので冒頭で触れている。
- ・ 表1で豪雨・台風被害調査は省く。その他、気が付いたことがあれば連絡する。

⑫年間スケジュールの確認(片岡幹事長)

- ・ 総会・研究会開催案内を配信するので、研究会のテーマ等が決まり次第、連絡する。
- ・ 新任委員の推薦書は3/10までに事務局に送付する。これらの推薦書にもとづき、次回の幹事会で選出について審議する。

(3) その他

- ・ 来年度の活動予算計画書の作成担当者を片岡幹事長の方で確認しておく。活動予算計画書は、各委員会への予算配分がGW明け、拡充支援金が決まるので、見込みで作成する。

以上

(議事録作成：濱野)